

DIAM国内株式インデックスファンド<DC年金>

1. 定性評価・コメント

当ファンドではファミリーファンド方式が採られており、実質的な運用は「国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド」で行われていますので、以下の運用プロセス、運用体制は主として同マザーファンドを評価対象とします。

総 合 評 価	Aaa		
	「運用方針」は具体的かつ明確です。		
	「運用プロセス」はポートフォリオの構築、リバランス等の判断基準・ルールが明確であり、運用の継続性は確保されています。		
	「運用体制」は運用責任者の経験、担当ファンドへの専念度合い、運用メンバーの安定性・バックアップ体制等を含めて問題はありません。		
	「組織・管理体制」は運用と管理が明確に分離され、牽制機能が十分に働く体制となっています。「ディスクロージャー」は評価できる内容となっています。「企業基盤」に関して、当社は強固な経営基盤を有し、財務・業務基盤も極めて安定しています。		

運 用 方 針	東京証券取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、東証株価指数（TOPIX、配当込み）に連動する投資成果を目指すファンドです。実績トラッキングエラーを年率0.20％以下に収めることを目標として、推定トラッキングエラーを同0.10％以下にコントロールしています。
---------	--

★★★★

運 用 プ ロ セ ス	ポートフォリオ構築では、TOPIXを構成する全銘柄のうち流動性が著しく低くかつ時価総額が小さい銘柄を除外した上で最適化を実施し、推定トラッキングエラーを最小化する組入れ銘柄とその投資比率を導出します。この際、個別銘柄の投資比率とベンチマーク構成比率の乖離を一定の範囲内に制限します。同トラッキングエラーが目標以下に収まっていることを確認のうえ、当ファンドのポートフォリオとします。 リバランスは、ベンチマーク採用銘柄に変更があった場合はその都度行います。また、当ファンドとベンチマークの収益率格差、個別銘柄保有比率のベンチマーク構成比からの乖離、ベンチマーク構成銘柄の資本異動等を日次でモニターし、リバランスの要否を検討します。 追加設定・解約による資金の流出入時には、原則として先物を利用した効率的なキャッシュマネジメントにより、コストを抑えつつ、ベンチマークとの連動性を追求します。ペビーフンドのマザーファンド売買価額は、追加設定・解約申込日の基準価額を適用することで、ベンチマークとの連動性に配慮しています。
-------------	---

★★★★

運 用 体 制	運用責任者は十分なパッシブ運用経験を有しています。また、担当ファンド数も少なく運用に専念できる環境にあります。 運用責任者交代時の引継ぎ想定者は十分なパッシブ運用経験を有しており、バックアップ体制に問題はありません。 パッシブ運用の品質維持・向上は、当ファンドの運用部門が担当しており、投資技術の開発や改善に努めています。
---------	---

★★★★

組織・管理体制 (ガバナンス)	コンプライアンスは所管部署でチェックされます。結果は所定の会議に報告され、違反事項は同会議で審議されます。リスク管理項目は所管部署でモニターされます。規制に抵触した場合は運用部門に是正要請が行われ、結果は所定の会議に報告されます。パフォーマンスは所管部署が月次で評価し、結果を毎月所定の会議に報告の上、運用部門にフィードバックします。改善を要する場合には、同会議から改善要請が行われます。 所管部署はいずれも明確で、管理項目、チェック・報告頻度は、おおむね十分です。売買執行部門と運用部門は分離され、それらを管理する各部門も両部門から独立しています。他の独立部門による監査も行われており、牽制機能が働いています。
--------------------	---

★★★★

ディスクロージャー	目論見書には、ベンチマークならびにそれに連動させる旨の運用方針が明確に記載されています。運用プロセスはわかりやすく説明されているほか、運用リスクの説明も十分であり、充実した内容と言えます。 運用報告書には、当ファンドとベンチマークの収益率ならびに連動性に関するコメントが記載されており、十分な内容です。 月報にはベンチマークとの連動性が把握できるように、設定来および短期・中長期にわたる超過収益率や両者のリスクが掲載されているほか、ポートフォリオの概要が記載されており、十分な内容と言えます。
-----------	--

★★★★

企 業 基 盤	当社は議決権保有比率でみずほフィナンシャルグループが51％、第一生命ホールディングスが49％（経済的持分はみずほFGが70％、第一生命HDが30％）出資する資産運用会社として強固な経営基盤を有しています。また、極めて安定した財務基盤、業務基盤のもとに規律のある経営が行われています。
---------	---

★★★★

運 用 実 績	直近3年間（2021年4月～2024年3月）の修正トラッキングエラー(注2)は年率0.08％と、ベンチマークと極めて高い連動性が認められます。 また、直近1年間（2023年4月～2024年3月）の修正トラッキングエラーは年率0.08％、同期間における各月の1年修正トラッキングエラーも同0.07％～0.08％程度と低位かつ安定的に推移しています。
---------	--

★★★★

(注1)運用実績の分析は運用管理費用控除後ベースで実施しています。

(注2)弊社では、運用実績の評価に際して、ベンチマークとファンドの連動性をより的確に把握するために、通常のトラッキングエラー（月次超過収益率の標準偏差）の他に、下記算式による修正トラッキングエラーも用いています。

修正トラッキングエラー（年率）＝ $\sqrt{\{（月次超過収益率の2乗の平均）\times 12\}}$

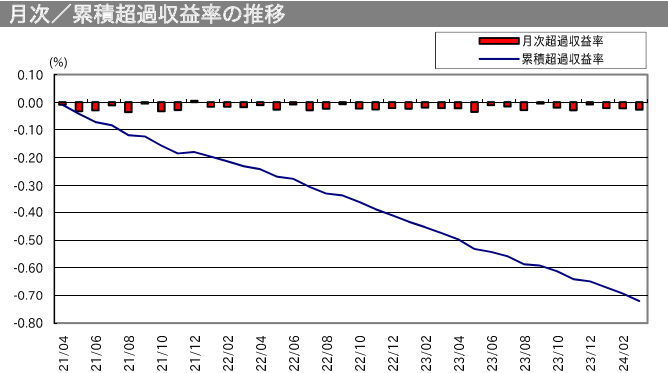
基準日：2024年3月末

2. ファンド概要・運用実績等

ファンドの概要			
運用	アセットマネジメントOne		
投資助言/一任	—		
MAB分類	国内株式（TOPIX）（パッシブ）		
設定日	2002年11月15日	純資産額	1,632億円
基準価額	48,738円	運用管理費用(注)	0.2420％
分配金	直近1年：0円	設定来累計：0円	

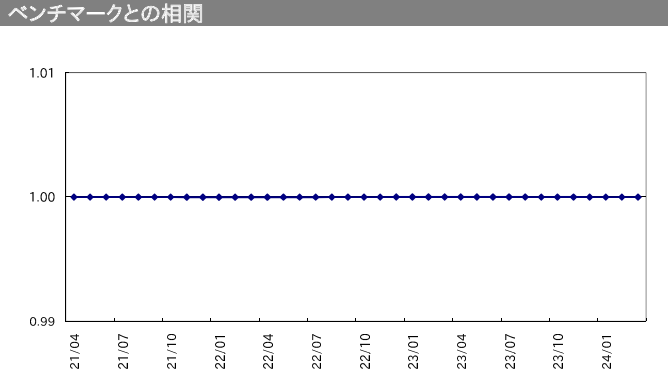
(注)運用管理費用は、年率、税込み(10％)表示です。

ファンドの特徴	日本の代表的な株価指数である東証株価指数（TOPIX、配当込み）と同様の特性をもつポートフォリオを構築し、同インデックス（指数）と同水準の収益およびリスクの実現を目指すファンドです。業種選択や個別銘柄選択等で積極的にリスクを取り市場平均を上回る収益を目指すアクティブ型ファンドに比べ、情報の収集・分析に関する労力は少なく、投資家の負担するコストは相対的に低くなります。 直近3年間のトラッキングエラーは目標値以下に収まっており、同インデックスとの連動性は高いと言えます。
---------	--



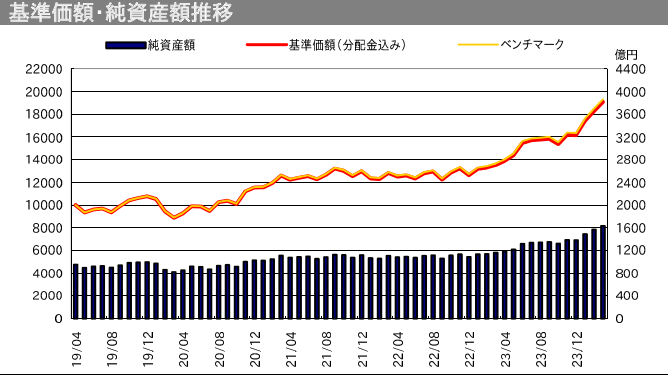
ファンドの収益率	当ファンド(％)	ベンチマーク(％)	累積超過収益率(％)	T.E. (年率％)
3カ月	18.06	18.14	-0.07	—
6カ月	20.40	20.55	-0.13	0.08
1年	41.00	41.34	-0.25	0.08
3年	51.45	52.53	-0.72	0.08

*T.E.は年率換算、月次ベースの修正トラッキングエラー

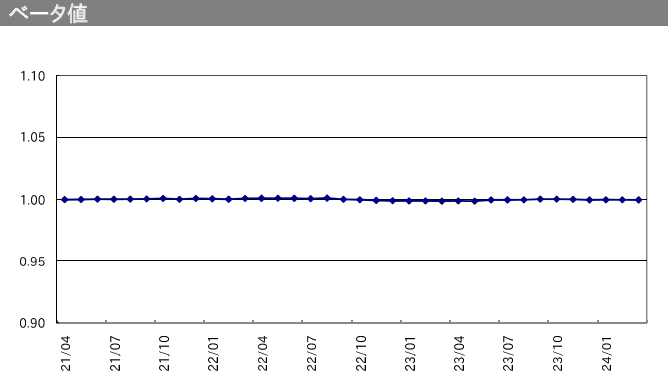
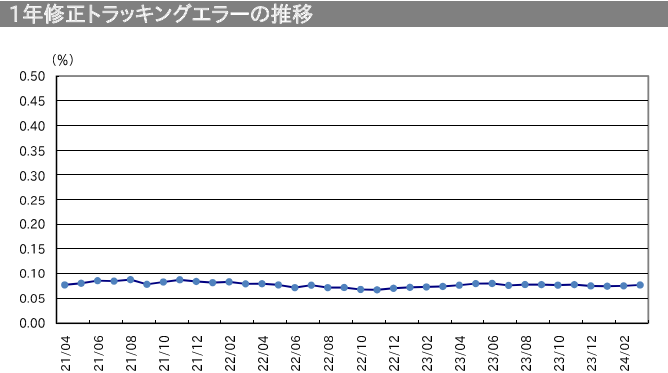


上位組入れ業種			
(単位：％)			
	業種名	組入れ比率	ベンチマークとの差
1	電気機器	17.40	0.01
2	輸送用機器	9.50	0.00
3	卸売業	7.41	0.00
4	銀行業	7.41	0.00
5	情報・通信業	7.26	0.00
6	化学	5.72	0.00
7	機械	5.62	0.00
8	サービス業	4.43	-0.04
9	医薬品	4.26	0.00
10	小売業	4.22	0.00

*組入れ比率は運用資産残高に対する比率です。



*基準価額は左目盛り、純資産額は右目盛り。
*基準価額およびベンチマークはファンド設定期間が5年未満のものは設定月末時、5年超のものは基準日より5年前の時点をもとに10,000とした指数値にて表記しています。



上位組入れ銘柄				
(単位：％)				
	銘柄名	業種	組入れ比率	ベンチマークとの差
1	トヨタ自動車	輸送用機器	5.19	-0.12
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.33	-0.06
3	ソニーグループ	電気機器	2.29	-0.05
4	東京エレクトロン	電気機器	2.09	-0.05
5	三菱商事	卸売業	1.77	-0.04
6	キーエンス	電気機器	1.74	-0.04
7	日立製作所	電気機器	1.68	-0.04
8	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.56	-0.04
9	信越化学工業	化学	1.48	-0.04
10	三井物産	卸売業	1.40	-0.03

*組入れ比率は対純資産総額比です（ファミリーファンド方式の場合は対マザーファンド純資産総額比）。

●本レポートに関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・プレインズ株式会社（以下、MAB）に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
●本レポートは、投資信託委託業者等から入手した情報およびMABが信頼できると判断した情報源から入手した本レポート作成基準日現在における情報をもとに作成しておりますが、当該情報の真実性・正確性をMABにて調査・確認したものではありません。
●MABは、本レポートの利用に関連して発生した一切の損害について何らの責任も負いません。
●本レポート中のグラフ・数値等は、あくまでも本レポート作成基準日までの過去の実績を示すものであり、将来の運用成果を保障するものではありません。
●本レポートは、情報提供を目的としたものであり、本投資信託の勧誘のために作成されたものではありません。
●投資信託はリスクを含む商品であり、したがって元本保証はありません。

●本レポートは、コンサルティングサービス契約に基づきMABが報酬を得て作成し、使用許諾を与えたものです。
●本レポート中の運用実績の分析は、原則として運用管理費用控除後、配当込みベースで実施しています。ベンチマーク算出方法（配当・為替）の違い等から、投資信託委託業者等の分析とは異なることがあります。
●（参考）超過収益率のデータはMAB独自の計算によるものであり、ファンドとベンチマーク収益率の差とは一致しない場合があります。
●2. ファンド概要・運用実績等の数値は、基準日当日のデータを使用するほか、基準日前日のデータを使用する場合もあります。
●東証株価指数（TOPIX、配当込み）の指数値及び東証株価指数（TOPIX、配当込み）に係る権限又は商標は、株式会社JFX総研又は株式会社JFX総研の関連会社の知的財産です。